



危機状況下にある 思春期の女の子たち

チャド湖流域からの声

サマリー・レポート

チャド湖流域に影響を及ぼしている危機は、世界でもっとも深刻な人道的緊急事態のひとつである。220 万人を超える人々が住む場所を失い、その半数が子どもであり、少なくとも 1000 万人がナイジェリア北東部、カメルーン極北部、チャド西部、ニジェール南東部全域で支援を必要としている。

過去数年間に、この危機に見舞われた人々が直面している困難については多く報告されてきたが、思春期の女の子の具体的なニーズや、この地域における平和と繁栄を築くうえでの彼女たちの役割に注目したものは少ない。また、長期に及ぶ危機の際に思春期の女の子の身の安全や健康、将来の見通しのすべてが、思春期の男の子や成人女性が直面するリスクとは異なる脅威にさらされることもあまり認識されていない。

プラン・インターナショナルによる今回の調査は、2つの年齢層（10～14 歳と 15～19 歳）の思春期の女の子が、危機による影響にどう対処しているのかを調べたものである。この報告書は彼女たちの声と、危機に対する見識を増幅させ、国際社会がどう対応すべきかについての彼女たちの意見を記している。

チャド湖調査地点



女の子たちが教えてくれたことは？

彼女たちが安全を感じることはほとんどない

調査した全地点において、女の子は恐怖を感じていると答えている。身体的、あるいは性暴力が、彼女たちの暮らしのほぼすべての場面に影響を与えているのだ。彼女たちは武装勢力、または政府軍による紛争関連の暴力や虐待を恐れているだけでなく、コミュニティや家庭内でも身体的な虐待を受けている。

「夜は安全ではありません。男の子たちが暗闇に乗じて私たちにちょっかいを出すから」

ニジェールのサヤムキャンプに暮らす 16 歳の女の子

多くの女の子が、「性暴力の被害者はコミュニティ内で非難させる」と述べた。なかには、加害者との結婚を強いられた女の子もいた。

「彼女たちは、自分をレイプした犯人と結婚させられたんです」

ナイジェリアのヌジトミロに暮らす 17 歳の女の子

調査の参加者は、女の子たちが男性と関係を持つことを強いられる現状についても語った。食料や衣服、学校のためのお金を稼ぐ手段としての、いわゆる「サバイバル・セックス」というものだ。

「裕福な家庭で使用人をしている被害者を知っています。彼女たちはよく雇い主にレイプされたり、男友だちにレイプされたりしますが、お金のために我慢しているんです」

カメルーンのモラに暮らす 16 歳の女の子

四分の一近く (21.21%) の調査対象の女の子が過去 1 カ月の間に殴られたと回答している

彼女たちは、空腹のまま眠りにつく

武装勢力が畑への道を破壊しつくしているため、女の子たちは食料も水も満足に手に入れられずにいる。これは、コミュニティが家族を食べさせることができないだけでなく、生きるために欠かせない収入も失っているということを意味する。

「幼い子どもに食べさせて、年長の子は水だけ飲んで寝るんです」

ナイジェリアのヌジトミロに暮らす 18 歳の女性

62%の調査対象の女の子が、過去 1 カ月の間に一度は空腹のまま眠りについたと回答している

彼女たちは、性と生殖に関する健康についての情報を必要としている

性と生殖に関する健康についての情報が欠けていることが、女の子の暮らしをおびやかしている。とくにチャド湖流域では世界のどこよりも高い妊産婦死亡率を記録しており、10万件の出産につき773.4人の妊産婦が命を落としているのだ。

「女の子が14歳を超えると、ボーイフレンドができます。性行為や生理周期についての知識が十分にないから、簡単に妊娠してしまうんです」

ナイジェリアのガハラに暮らす16歳の女の子

彼女たちは勉強したいが、それを妨げられている

思春期の女の子は学校に行きたがっているが、家事をしたり家で働いたりしなければならないため、中学校にすすむことができない場合が多い。

「私は、ここカレリで学校に通えていることを誇りに思っています。私がいつもうれしく、自慢できることのひとつなんです」
ナイジェリアのカレリに暮らす18歳の女性

「(私の一番の成果は) 学校でいい成績をとって上の学年に進級したことです」

カメルーンのプロブリンに暮らす13歳の女の子

思春期の女の子は、結婚するために学校をやめさせられる場合が多い。調査に参加した多くの女の子が、現在の危機が始まって以来、早すぎる結婚が増えたことに気づいている。女の子たちが結婚させられるもっとも一般的な年齢は14~15歳で、初等教育の修了と同じ時期にあたる。

「早すぎる結婚は反政府暴動の影響です。親が子どもの面倒を見られなくなるからです」

ナイジェリアのザルマリに暮らす女の子の母親

調査地点全域の10~19歳の思春期の女の子のうち、15%超が現在結婚しているか、最近まで結婚していた

彼女たちは、明るい未来を望んでいる

今回の調査では、非常に困難に直面しているにもかかわらず、思春期の女の子たちがめざましいレジリエンス(回復力)と起業家精神、努力、人を助けたいという強い思いを持っていることがわかった。

彼女たちはまた、自分たちの未来をよくするために何が必要かを理解しており、それを言葉にする能力を持っている。たとえば、彼女たちは貧困が暮らしに与えている影響を正確に把握しており、お金がないこと、お金を稼ぐ能力がないことがいかに自分たちの暮らしを制限し、コミュニティの再建を難しくするかをよくわかっている。

「人助け、とくに孤児や未亡人を助けたい。何かやること、学ぶことを提供したい。たとえば商売のしかたとか」

ナイジェリアのガハラに暮らす19歳の女性

彼女たちの生存と、家族やコミュニティを支えていくために欠かせないものとして確認されたおもな要素は以下の通りである。

- ・**教育と技能**：思春期の女の子の幸福と希望を大幅に改善し、将来への道筋を提供する。
- ・**女性のリーダーと仲間同士の支援**：女の子たちは、家族のなかの年長の女性や地域の女性リーダーが大きな刺激になると答え、また、ほかの思春期の女の子と話して問題を共有できることも重要だと答えた。
- ・**安全な空間**：お互いに話をしたり、情報を入手できる場所も、思春期の女の子の幸福と安全に貢献する。

結論と提案

女の子たちが身体的にも感情的にも日常的にも、また将来を守るという意味合いでも支援を求めていることを私たちは知っている。彼女たちは教育の重要性を強調し、自分たちの暮らしだけではなく、コミュニティや国全体の再建に貢献できるようになりたいと決意を固めている。ここに記す提案は、彼女たちの優先順位に基づいている。

- 私たちを参加させてください：思春期の女の子が自らに影響を与えるすべての決定に参加できるような活動を促進し、資金を供給する。彼女たちのニーズや基本的人権が満たされるよう保証する。
- 私たちに教育を与えてください：家族には女の子を学校に通わせ続けるよう奨励し、職業や技能訓練を提供する。
- 私たちの安全を守ってください：すべての思春期の女の子のために治安を改善し、女の子に対する暴力を助長する根本的な差別に取り組むよう、家族やコミュニティと協力する。
- 私たちに食料をください：経済危機を緩和し、水と食料を手に入れやすくなるような方策を促進する。
- 私たちに情報をください：女の子たちが適切な保健サービスへアクセスでき、とりわけ性と生殖に関する健康と権利についての知識を得て、彼女たちの安全な未来が実現できるようにする。

「私たちを学校に通わせ、技能訓練を受けさせて、生活に必要な環境(病院、電気、水)を与えてください。そうすれば私たちの暮らしはもっとよく、もっと楽になります」
ナイジェリアのミシェリに暮らす13歳の女の子



-  facebook.com/planinternational
-  twitter.com/planglobal
-  instagram.com/planinternational
-  linkedin.com/company/plan-international
-  youtube.com/user/planinternationaltv